

小山市立博物館

# 博物館だより

2010  
8.15

# 51

## 第56回企画展

# 桑摘み唄と小山の養蚕

平成22年11月20日(土)～平成23年1月23日(日)



小山市は、古くから蚕を飼って繭を生産したり、その卵（蚕種）を出荷するといった養蚕業が盛んに行われ、国内有数の産地として発展してきました。特に明治以降は、外国への輸出品としても注目され、蚕飼育方法の近代化と相俟って生産量も増加し、一大産業へと発展しました。そのため蚕の飼育は、農家にとって大きな収入源となりましたが、温度や湿度管理が十分でないと病気になりやすく、「お蚕様」と呼んで神様、あるいはわが子のように大切に育てました。また汚れ繭や玉繭、出殻繭などの商品とはならないものも決して無駄にせず、真綿にして糸を紡ぎ、高級織物としての結城紬の生産に結びつけました。こうした養蚕にまつわる歴史や文化は、桑村や絹村といった旧村の地名にも残されているほどです。

しかし時代の推移とともにその生産量も激減し、養蚕にまつわる用具や信仰、独特な造りの民家といったものも急速に失われつつあります。

今回の展示では、そうしたかつての養蚕に関わる民間伝承や養蚕道具などの資料をとおして、かつて小山市を代表する一大産業であった養蚕の歴史をたどります。

また養蚕にまつわる市内に残された唯一の民謡である、「生井の桑つみ唄」を紹介いたします。



**開館時間** 午前9時～午後5時（入館は4時30分）

**入館料** 大人200円 高校・大学生100円  
小中学生無料

**休館日** 月曜日（祝祭日は除く） 第4金曜日  
祝日の翌日 年末年始（12/27～1/4）

ご来館ありがとうございました

## 「小山の遺跡3～中世小山氏を中心に～」を終えて

小山市内にある419ヶ所の遺跡のなかでも、国や市の文化財に指定されている小山氏の遺跡から見つかった資料を中心にした展示を開催しました。

特に、これまでの発掘調査で見つかった祇園城跡ぎ おんじょうあとの金属製品や陶磁器類しとの や くる わあと、神鳥谷曲輪跡の木製品には驚きの声があがっていました。

また、記念講演会では、定員の倍近くの申し込みをいただき、可能なかぎり、受け入れました。講師の齋藤慎一先生（江戸東京博物館主任学芸員）から貴重な講話をいただき、参加者のみなさんも熱心に聞き入っていました。講話後の限られた時間でしたが、活発な質疑応答もありました。

当展をとおして、中世の小山について、理解と関心を深めてもらうことができたのではないかと思います。



展示風景

### 収蔵資料案内

#### 寄託資料 **銅造善光寺式阿弥陀三尊像** (西光寺所蔵) 制作年代15世紀～16世紀

善光寺式阿弥陀三尊像は、多くが鎌倉時代から室町時代にかけて作られました。長野県の善光寺の本尊を模したもので、つくり方は三体とも立像、中尊ちゆうそんの阿弥陀如来いんそうの印相とういん（手の形）が刀印（下げた左手の人差し指と中指を伸ばしあとはすべてまげり）、脇侍わきじの観音菩薩かんのん ぼさつと勢至菩薩せいし ぼさつは梵篋印ほんきょういん（胸の前で両手の平を水平に重ねる）を結び八角形の宝冠をかぶるなどの特徴があります。西光寺の三尊像は、三尊とも後の補修で厚く塗りなおされてしまいましたが、中尊の阿弥陀如来ら ぼつは螺髮ら ぼつ（髪の毛が渦巻いている様子）や肉髻にくけい（頭が二段に盛り上がっている様子）がよく残っています。脇侍の観音菩薩（向かって左）や勢至菩薩（向かって右）にも、後の補修による変形が認められます。また通常、善光寺式三尊像は中尊が一尺五寸（約45cm）、脇侍は一尺（約30cm）で铸造されることがほとんどです。一方、西光寺の三尊像は阿弥陀像が36.2cm、観音像が26.3cm、勢至像が26.9cmで、一回り以上小さく作られています。これは、溶けた銅を流し込む鑄型い がたを仏像の原型の木型から直接つくったのではなく、仏像本体からそのままとる「踏み返し」を何度もおこなったためなのでしょう。栃木県内では、善光寺式三尊が3体すべてそろっているのは12例しかありません。小山市内ではこのうちの3例も確認されていますので、県内の総数の1/4を占めるとても貴重な資料といえます。



## 後期観望会の見どころ

毎月第2土曜日に定例観望会を開催しています。昼間は博物館駐車場において太陽の観測を行い、夜は生井公民館において季節ごとに見られる星座などの紹介をしながら星の観測を行います。これからの季節は比較的天気も良く、空気も澄んできますので、星の観測には良い時期になってきます。星空の見どころもたくさんあります。

12月21日には皆既月食があり、ほぼ全国で欠けたまま昇ってくる月を眺めることができます。この日は第2土曜日ではありませんが、臨時の観望会を実施する予定です。詳細については、今後の博物館ホームページ等でご確認ください。また、惑星では、うお座付近に太陽系最大の惑星である木星を見ることができます。さらに、月や木星だけでなく、冬にはオリオン座やすばる（プレアデス星団）などの有名な星座や星団、数多くの明るい星が見られ、とてみにぎやかな星空を眺めることができます。博物館の観望会への参加はもちろん、天気がよければご家庭でも夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。

## 前期講座 博物館めぐり

晴天に恵まれた6月2日、前期講座の「博物館めぐり」を実施しました。片道2時間半という長距離移動となりましたが、荒川河川敷のポピー畑など車窓からの風景も楽しいものでした。

今回の見学地は埼玉県平和資料館と原爆の図丸木美術館で、どちらも第二次世界大戦を基軸とした資料・作品の展示をされています。第二次世界大戦中、小山に大規模な空襲はなかったものの、たくさんの人が兵隊として召集されました。今回の講座では、日常忘れがちな平和の尊さを改めて確認していただけたかと思います。



見学風景(原爆の図丸木美術館)

担当学芸員も戦争という歴史を残すために博物館が負う責任は大きいと思いつつ、実は大型バスの帰路確認に必死。さわやかな気候の日に大量の冷や汗をかいていました。

(見学地：埼玉県東松山市 参加者33名)

## コラム 博物館職員雑記帳

### 博物館で勤務した4ヶ月間を振り返って

指導主事 山本 一弘

今年度4月から学校現場を離れて博物館に配属となり、早くも4ヶ月が過ぎました。博物館での業務は学校現場とは全く異なり、分からないこともたくさんありましたが、周りの職員の方々に助けていただきながら何とか日々の仕事をこなすことができました。

この4ヶ月間、様々な仕事に携わらせていただきましたが、その中で主なものは4月・5月に小学6年生を対象に行われた「歴史学習」、そして6月・7月に小学3年生を対象に行われた「昆虫教室」でした。これらの行事を通して、小山市内の全小学校と関わりを持たせていただきましたが、「歴史学習」の火おこし体験に一生懸命取り組んだり、「昆虫教室」で様々な昆虫を見て目を輝かせたりする児童の姿はどの学校も同じでした。そして、その姿を見て、学校教育における博物館の役割や価値なども感じる事ができました。博物館勤務という貴重な経験を通して、数多くのことを学びながら自分自身を成長させていきたいと思っています。

栃木県立博物館地域移動博物館

## ホネほね動物大集合 2010.7.17~8.22

私たちヒトには、背骨があります。私たちの身近なところにいる犬や猫をはじめ、魚や鳥、カエルなどの動物にも背骨があります。これらすべては「背骨がある」という共通の特徴を持つ脊椎動物の仲間となります。5億年以上の年月をかけた進化の中で、水中、陸上、空中と生活する環境に応じてさまざまな姿の脊椎動物が誕生し、現在、たくさんの脊椎動物がこの地球上でともに暮らしています。

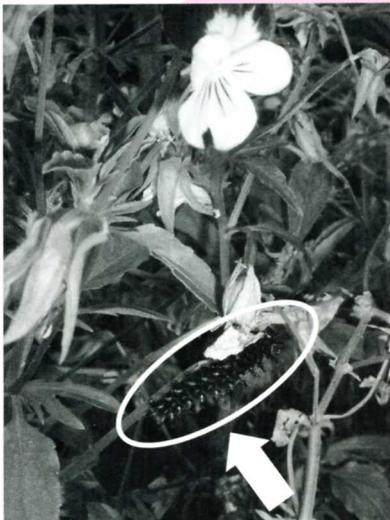
今回の「ホネほね動物大集合」展は、栃木県立博物館の市町連携事業の一環である「地域移動博物館」として実施するもので、哺乳類、鳥類、魚類など「脊椎動物」の骨格標本や剥製標本を展示し、それぞれ姿の特徴や意味などをご紹介します。

これらの展示を通して、生き物の世界のおもしろさ、不思議さ、そして環境に合わせて生きる動物のたくましさを感じていただきたいと思います。



展示解説の様子

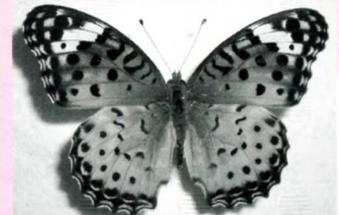
### 季節の一枚



ツマグロヒョウモン(幼虫)

### 「ツマグロヒョウモン」

6月の終わりの頃、畑の隅に咲いていたスマイレに、みかけたことのない幼虫が数匹ついていました。図鑑で調べてみると、『ツマグロヒョウモン』という蝶の終齢幼虫だと分かりました。これまで、関西から西の地方でしか確認されなかった蝶が、10年ほど前から関東地方でも見られるようになり、小山でも5年ぐらい前から目撃されるようになってきています。温暖化の影響を受けているのではないかとされていますが、パンジー(スマイレ科)が幼虫の越冬を支えているとも言われています。温暖化が昆虫の棲息域に大きな影響を及ぼしているようです。



ツマグロヒョウモン(成虫)

### 募集中!

### 博物館ボランティア・天文ボランティア

博物館では、博物館ボランティア・天文ボランティアを募集しています。

#### ◆博物館ボランティアとは・・・

常設展示の解説活動を中心に、様々な博物館事業へ協力していただいています。

#### ◆天文ボランティアとは・・・

博物館主催の定例観望会の補助活動などをお願いしています。

詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。

### 寄贈者芳名 (平成22年1月~6月)

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- 福田廣 (小山市) ……………毛皮 2点
- ……………竹細工 2点
- ……………煙草入れ 1点
- ……………万年火ふき 1点
- ……………辞書(豆本) 1点
- 塩田敏夫 (小山市) ……………パンガサ 1点
- 清水東三 (小山市)
- ……………篠塚稻荷神社銅版画 1点
- 岩崎照子 (小山市) ……………絵日記 3点
- 鈴木正浩 (小山市) ……………看板 2点

発行年月日/平成22年8月15日  
 発行/小山市立博物館  
 〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7  
 (JR宇都宮線関ヶ原駅西口下車徒歩10分)  
 電話/(0285) 45 - 5331  
 ファックス/(0285) 45 - 5247  
 印刷/(株)ダイサン小山